

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

視能訓練学科

授業科目 (科目ID)	眼科検査実習 I 21n217		担当教員 (実務経験)	川岸 寿幸 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う	
対象年次・学期	2年・前期		必修・選択区分	必修	単位数 1単位
授業形態	実習		授業回数(1回90分)	15	時間数 30時間
授業目的	視野の理論を理解し、検査の基本技術を身につける。網膜電図についての基礎を身につける。				
到達目標	視野の理論を理解し、検査手順を述べることができる。視野の検査で、正常眼を正確に測定できる。網膜電図の知識を身につけ安全な検査を実践できる。				
テキスト・ 参考図書等	視能学 第3版(文光堂)、眼科検査ガイド 第3版(文光堂)、新しい眼光学の基礎(金原出版)、眼科検査法ハンドブック 第4版(医学書院) 理解を深めよう 視野検査(金原出版)、理解を深めよう 視力検査 屈折検査(金原出版)				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	90%	①定期試験90% ②提出物(視野)10%		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	10%			
その他	%				
履修上の 留意事項	①座学・実習を通して検査の基本的な理論と技術を習得すること。 ②検査内容・方法をしっかり把握し正確な検査ができるようになること。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	視野検査1	視野検査・1年時の復習		
	2	視野検査2	ハンフリー自動視野計について1		
	3	視野検査3	ハンフリー自動視野計について2		
	4	視野検査4	ゴールドマン視野計1		
	5	視野検査5	ゴールドマン視野計2		
	6	視野検査6	ゴールドマン視野計1(V/4e~ I /3e)		
	7	視野検査7	ゴールドマン視野計2(V/4e~0/1e)		
	8	視野検査8	ゴールドマン視野計3(中間イソプター) 自動視野計		
	9	視野検査9	ゴールドマン視野計4(中間イソプター) 自動視野計		
	10	電気生理検査1	網膜電図概要		
	11	電気生理検査2	網膜電図概要		
	12	電気生理検査3	網膜電図実習		
	13	電気生理検査4	網膜電図実習		
	14	電気生理検査5	視覚誘発試験(VEP)、眼球電図(EOG)(眼球運動検査)、視運動眼振(OKN) 電気眼振図(ENG)(眼球運動検査)、筋電図(EMG)		
15	電気生理検査6	視覚誘発試験(VEP)、眼球電図(EOG) 実習			

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

視能訓練学科

授業科目 (科目ID)	眼科検査実習Ⅱ 21n218	担当教員 (実務経験)	川岸 寿幸 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う 別紙1参照		
対象年次・学期	2年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	実習	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	視野検査を学問的基礎を基に、理論に基づいて臨床の場で患者さんに応用できる技術を習得する。				
到達目標	①症例に合わせた視野検査を正確に行うことができる。 ②検査の対象、目的、方法、特徴、結果を理解した上で正しく行える。				
テキスト・ 参考図書等	視能学 第3版(文光堂)、眼科検査ガイド 第3版(文光堂)、配付プリント				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	80%	①定期試験80% ②提出物20%		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	20%			
	その他	%			
履修上の 留意事項	①座学・実習を通して理論と技術を習得すること。 ②検査内容・方法をしっかり把握しスムーズかつ正確な検査ができるようになること。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	視野検査(川岸)	視野検査 復習1 ゴールドマン視野計 ハンフリー視野計		
	2	視野検査(川岸)	視野検査 復習2 ゴールドマン視野計 ハンフリー視野計		
	3	視野検査(川岸)	視野異常総論1		
	4	視野検査(川岸)	視野異常総論2		
	5	視野検査(川岸)	視野異常について演習1		
	6	視野検査(川岸)	視野異常について演習2		
	7	視野検査(川岸)	視野異常測定 実習1		
	8	視野検査(川岸)	視野異常測定 実習2		
	9	視野検査(川岸)	視野異常測定 実習3		
	10	視野検査(川岸)	特殊視野について 座学		
	11	視野検査(川岸)	特殊視野について 実習(ハンフリー視野計を使ったエスターマン検査)		
	12	臨床的視野検査Ⅰ(高川、川岸)	視野異常測定 実習1		
	13	臨床的視野検査Ⅰ(高川、川岸)	視野異常測定 実習2		
	14	臨床的視野検査Ⅱ(山口)	臨床における視野検査のポイントと実際1		
15	臨床的視野検査Ⅱ(山口)	臨床における視野検査のポイントと実際2			

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

視能訓練学科

授業科目 (科目ID)	総合実習 21n219		担当教員 (実務経験)	佐久間 愛 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う 別紙1参照	
対象年次・学期	2年・後期		必修・選択区分	必修	単位数 1単位
授業形態	実習		授業回数(1回90分)	15	時間数 30時間
授業目的	臨床現場で適切な検査業務を行うための基礎知識を整理し、各種検査の基礎を理解する。				
到達目標	基礎知識を基に各視機能検査を適切に実践できる。				
テキスト・参考図書等	視能学 第3版(文光堂)、眼科検査ガイド 第3版(文光堂)、現代の眼科学 改訂版第13版(金原出版)、視能矯正マニュアル 改訂版(メディカル菱出版) 理解を深めよう 視力検査・屈折検査(金原出版)、新しい眼光学の基礎(金原出版)				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	100%	実技試験100%		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の留意事項	①学習範囲が広いためその都度復習をすること。②知識と技術が求められるため、自主練習に励むこと。③各分野の小テストに合格した学生は実技試験を受けられる。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	眼科検査のための基礎知識(松田)	眼の機能・解剖		
	2	各種眼科検査1(四宮)	眼圧検査・角膜内皮細胞検査・眼軸長検査 グループワーク		
	3	各種眼科検査2(四宮)	各種検査実習		
	4	各種眼科検査3(四宮)	各種検査実習		
	5	各種眼科検査3(川岸)	涙液検査・色覚検査		
	6	各種眼科検査4(川岸)	視野検査・電気生理検査		
	7	各種眼科検査5(佐藤)	眼位・眼球運動検査		
	8	各種眼科検査6(佐藤)	両眼視機能検査		
	9	検診実習1(四宮、佐藤、川岸)	1年生の検診実習		
	10	検診実習2(四宮、佐藤、川岸)	1年生の検診実習		
	11	検診実習3(四宮、佐藤、川岸)	1年生の検診実習		
	12	検診実習4(四宮、佐藤、川岸)	1年生の検診実習		
	13	検診実習1(佐久間)	2年生の検診実習		
	14	検診実習2(佐久間)	2年生の検診実習		
15	検診実習3(佐久間)	2年生の検診実習			

授業科目 (科目ID)	総合実習 21n219	担当教員 (実務経験)	川岸 寿幸 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う
対象年次・学期	2年・後期	担当教員	佐藤 幸恵
授業形態	実習	(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員 (実務経験)	四宮 敦志 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員 (実務経験)	松田 理恵 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	山田 正幸 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

視能訓練学科

授業科目 (科目ID)	眼科学実習Ⅱ 21n220	担当教員 (実務経験)	山田 正幸 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う		
対象年次・学期	2年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	実習	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	眼底についての基礎知識を身につけ、眼底写真の撮影を適切に行える。				
到達目標	基礎知識をもとに必要な眼底写真を撮影できる。OCTの基礎、測定方法、検査結果の解析についての基礎知識を習得する。				
テキスト・参考図書等	視能学 第3版(文光堂)、眼科検査ガイド 第3版(文光堂)、現代の眼科学 改訂第13版(金原出版)				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	100%	試験100%(実技試験30%+定期試験70%)		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の留意事項	①検査機械の操作や撮影方法、データの見方を習得するため自発的に取り組む事 ②提出物は時間が掛かるため早めに取り組む事				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	眼底検査1	眼底カメラ撮影		
	2	眼底検査2	眼底カメラ撮影 機械操作方法		
	3	眼底検査3	前眼部・後極部・視神経乳頭部・パノラマ撮影		
	4	眼底検査4	前眼部・後極部・視神経乳頭部・パノラマ撮影		
	5	眼底検査5	前眼部・後極部・視神経乳頭部・パノラマ撮影		
	6	眼底検査6	前眼部・後極部・視神経乳頭部・パノラマ撮影		
	7	眼底検査7	前眼部・後極部・視神経乳頭部・パノラマ撮影		
	8	眼底検査8	前眼部・後極部・視神経乳頭部・パノラマ撮影		
	9	眼底検査9	OCTの基礎1(TOPCON)		
	10	眼底検査10	OCTの基礎2(TOPCON)		
	11	眼底検査11	OCTの見方1		
	12	眼底検査12	OCTの見方2		
	13	眼底検査13	OCTの測定方法		
	14	眼底検査14	基本と応用		
15	まとめ	OCTその他 復習			

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

視能訓練学科

授業科目 (科目ID)	眼疾病学 I 21n221		担当教員 (実務経験)	山田 正幸 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う 別紙1参照	
対象年次・学期	2年・前期		必修・選択区分	必修	単位数 2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数 30時間
授業目的	眼疾病学についての基礎知識を修得する。				
到達目標	主要な眼疾病の病態・症状・診断・治療について述べる事ができる。				
テキスト・参考図書等	視能学 第3版(文光堂)、眼科検査ガイド 第3版(文光堂)、現代の眼科学 改訂第13版(金原出版)、病気がみえるvol.12 眼科(メディックメディア)				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70%	①定期試験70% ②レポート10% ③小テスト20%		
	レポート	10%			
	小テスト	20%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の留意事項	幅広い学習内容のため、覚えることが多いので日頃からの勉強を怠らないこと。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	眼疾病学1(山田)	眼瞼・涙器		
	2	眼疾病学2(山田)	結膜・角膜・強膜		
	3	眼疾病学3(川岸)	緑内障		
	4	眼疾病学4(山田)	ぶどう膜炎		
	5	眼疾病学5(山田)	脈絡膜・網膜・硝子体1		
	6	眼疾病学6(山田)	脈絡膜・網膜・硝子体2		
	7	眼疾病学7(山田)	脈絡膜・網膜・硝子体3		
	8	眼疾病学8(山田)	脈絡膜・網膜・硝子体4		
	9	眼疾病学9(山田)	脈絡膜・網膜・硝子体5		
	10	眼疾病学10(山田)	脈絡膜・網膜・硝子体6		
	11	眼疾病学11(四宮)	瞳孔・対光反射		
	12	眼疾病学12(川岸)	眼窩・視神経・視路		
	13	眼疾病学13(佐久間)	眼球運動1		
	14	眼疾病学14(佐久間)	眼球運動2		
15	眼疾病学15(山田)	まとめ・復習			

授業科目 (科目ID)	眼疾病学 I 21n221	担当教員 (実務経験)	川岸 寿幸 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う
対象年次・学期	2年・前期	担当教員	佐久間 愛
授業形態	講義	(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員 (実務経験)	四宮 敦志 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	四宮 敦志 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

視能訓練学科

授業科目 (科目ID)	眼疾病学Ⅱ 21n222	担当教員 (実務経験)	山田 正幸 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う 別紙1参照		
対象年次・学期	2年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	視能訓練士に必要な眼疾病に関する臨床的知識を修得する。				
到達目標	眼疾病の病理、検査、診断、治療について説明ができる。				
テキスト・参考図書等	視能学 第3版(文光堂)、眼科検査ガイド 第3版(文光堂)、現代の眼科学 改訂第13版(金原出版)、視能矯正マニュアル 改訂版(メディカル英出版) 斜視・弱視診療アトラス(金原出版)、神経眼科学を学ぶ人のために 第2版(医学書院)				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	80%	①定期試験80% ②小テスト20%		
	レポート	%			
	小テスト	20%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の留意事項	①プリントや板書、パワーポイントを中心に講義形式の授業になるためノートを作成すること。 ②集中講義のため欠席しないこと。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	眼疾病学(山田)	眼瞼・涙器・結膜・角膜・強膜		
	2	眼疾病学(山田)	脈絡膜・網膜・硝子体		
	3	眼疾病学(山田)	まとめ		
	4	眼疾病学(四宮)	白内障・水晶体疾患		
	5	眼疾病学(四宮)	瞳孔・対光反射		
	6	眼疾病学(四宮)	まとめ		
	7	眼疾病学(川岸)	緑内障		
	8	眼疾病学(川岸)	眼窩・視神経・視路		
	9	眼疾病学(川岸)	まとめ		
	10	加齢と眼疾患(引地)	加齢黄斑変性、硝子体の加齢変化と網膜疾患		
	11	加齢と眼疾患(引地)	動脈硬化と網膜循環疾患、糖尿病網膜症		
	12	眼疾患(大谷)	眼疾患 全般(前眼部、ぶどう膜、角膜)		
	13	眼疾患(大谷)	眼疾患 全般(緑内障、白内障)		
	14	網膜・黄斑部疾患(山田)	網膜疾患についての基本的知識		
15	網膜・黄斑部疾患(山田)	疾患の原因および発生機序・治療法			

授業科目 (科目ID)	眼疾病学Ⅱ 21n222	担当教員 (実務経験)	大谷 真一 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 眼科医師として眼科診療に従事し、当該科目の教育を行う
対象年次・学期	2年・後期	担当教員	引地 泰一
授業形態	講義	(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 眼科医師として眼科診療に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員 (実務経験)	吉田 篤 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 眼科医師として眼科診療に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員 (実務経験)	川岸 寿幸 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員 (実務経験)	四宮 敦志 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

視能訓練学科

授業科目 (科目ID)	神経眼科学 21n223		担当教員 (実務経験)	佐藤 幸恵 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う 別紙1参照	
対象年次・学期	2年・後期		必修・選択区分	必修	単位数 2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数 30時間
授業目的	視能訓練士に必要な神経眼科に関する知識を修得する。				
到達目標	神経眼科についての病理、検査、診断、治療について説明ができる。頭蓋内疾患による眼科所見を理解し、それらに見られる視野障害、瞳孔、眼振等の特徴を述べることができる。神経眼科検査法を選択できる。				
テキスト・参考図書等	視能学 第3版(文光堂)、眼科検査ガイド 第3版(文光堂)、現代の眼科学 改訂第13版(金原出版)、視能矯正マニュアル 改訂版(メディカル英出版) 斜視・弱視診療アトラス(金原出版)、神経眼科学を学ぶ人のために 第2版(医学書院)				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	80%	①定期試験80% ②小テスト20%		
	レポート	%			
	小テスト	20%			
	提出物	%			
その他	%				
履修上の留意事項	①プリントや板書、パワーポイントを中心に講義形式の授業になるためノートを作成すること。(各自作成したノートを提出物として評価) ②集中講義のため欠席しないこと。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	眼球運動(大庭)	眼球運動		
	2	眼球運動(大庭)	眼球運動		
	3	眼球運動(大庭)	眼球運動		
	4	眼球運動(大庭)	眼球運動		
	5	眼球運動(大庭)	眼球運動		
	6	眼球運動(大庭)	眼球運動		
	7	神経眼科(橋本)	視路疾患と視野異常の関係について		
	8	神経眼科(橋本)	眼球運動のみかた		
	9	神経眼科(橋本)	全身疾患と神経眼科の関わり		
	10	神経眼科(橋本)	CT・MRIの基礎と臨床応用		
	11	神経眼科(藤井)	病的複視について		
	12	神経眼科(藤井)	病的複視の評価		
	13	神経眼科(藤井)	診断的むき眼位測定について		
	14	神経眼科(藤井)	診断的むき眼位測定について		
15	まとめ(佐藤)	神経眼科復習			

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

視能訓練学科

授業科目 (科目ID)	視能訓練学 21n224		担当教員 (実務経験)	佐藤 幸恵 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査・訓練業務に従事し、当該科目の教育を行う 別紙1参照	
対象年次・学期	2年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義・実習	授業回数(1回90分)	23	時間数	46時間
授業目的	視能矯正・視能訓練の基礎を学ぶ。				
到達目標	視能矯正の基礎を理解し、臨床実習に備えて斜視・弱視検査、治療法について述べることができる。				
テキスト・参考図書等	視能学 第3版(文光堂)、視能矯正マニュアル 改訂版(メディカル葵出版)、視能矯正学 改訂第3版(金原出版)、斜視・弱視診療アトラス(金原出版)、視能矯正 理論と実際(金原出版)、視能学エキスパート 視能訓練学(医学書院)				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70%	①定期試験70% ②小テスト30%		
	レポート	%			
	小テスト	30%			
	提出物	%			
その他	%				
履修上の留意事項	視能学、配付資料は毎回持つてくること。講義中に単元ごと的小テストを行うので、集中して受講すること。				
	回数	履修主題	履修内容		
履修主題・履修内容	1	小児看護(加藤)	新生児疾患		
	2	小児看護(加藤)	子どもの発達と視機能について		
	3	弱視各論(佐久間)	弱視の神経回路(構造と機能、片眼遮閉の効果の臨界期) 視器の形態学的発達		
	4	弱視各論(佐久間)	弱視の定義と原因・分類、心因性視覚障害について、4Δ基底外方試験の原理		
	5	弱視各論・検査(佐久間)	弱視の検査 問診から始まる各種検査、固視について		
	6	弱視各論・検査(佐久間)	固視検査について		
	7	弱視各論・検査(佐久間・佐藤)	固視検査実習(残像とH.B、ユーテスコープ・コージナトル・A.I使用)		
	8	弱視各論・訓練(佐久間・佐藤)	弱視訓練の適応と経過観察①(健眼遮閉、アトロピン遮閉・ペナリゼーション、コンプライアンス等、バンガーター膜実習)		
	9	弱視各論・訓練(佐久間・佐藤)	弱視訓練の適応と経過観察②(健眼遮閉、アトロピン遮閉・ペナリゼーション、コンプライアンス等、バンガーター膜実習)		
	10	眼球振盪(佐藤)	眼球振盪① 種類と治療		
	11	眼球振盪(佐藤)	眼球振盪② 種類と治療		
	12	斜視の観血的療法(佐藤)	斜視手術① 種類と適応		
	13	斜視の観血的療法(佐藤)	斜視手術② 種類と適応、合併症について ポツリヌス治療		
	14	視能矯正の知識と技術(提嶋)	フレネル膜プリズム 講義・ビデオ		
	15	視能矯正の知識と技術(提嶋)	フレネル膜プリズム プリズム貼り実習①		

	回数	履修主題	履修内容
	16	視能矯正の知識と技術(提嶋)	フレネル膜プリズム プリズム貼り実習②
	17	視能矯正の知識と技術(佐藤)	斜視視能訓練について
	18	視能矯正の知識と技術(佐藤)	大型弱視鏡以外の斜視視能訓練 方法と実習①(家庭用訓練道具作成)
	19	視能矯正の知識と技術(佐藤)	大型弱視鏡以外の斜視視能訓練 方法と実習②(家庭用訓練道具作成)
	20	視能矯正の知識と技術(提嶋)	大型弱視鏡による斜視視能訓練
	21	視能矯正の知識と技術(提嶋、佐藤)	大型弱視鏡による斜視視能訓練実習①
	22	視能矯正の知識と技術(提嶋、佐藤)	大型弱視鏡による斜視視能訓練実習②
	23	視能矯正の知識と技術(佐藤)	まとめ 演習問題

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

視能訓練学科

授業科目 (科目ID)	臨地実習Ⅱ 21n225	担当教員 (実務経験)	佐久間 愛 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 別紙1参照		
対象年次・学期	2年・通年	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	実習	授業回数(1回90分)		時間数	45時間
授業目的	医療人としての態度や心構え、コミュニケーション能力を身につける。 また、最新の眼科診療を知り、多業種からなるビジョンケアについても学ぶ。				
到達目標	視能訓練士の実習生として、基本的な接遇マナーを実習先に応じて実践できる。				
テキスト・ 参考図書等	プリント教材				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	各実習先ごとの提出物(レポート・感想文・実習評価)100%		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	100%			
	その他	%			
履修上の 留意事項	①各実習先の実施要領を参照。②実習先ごとにレポートおよび感想文の提出があるため積極的に参加しメモを取ること。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
		メガネのプリンス実習(20時間)	眼科医療現場で必要な接遇やマナーの基礎を作る。 眼鏡店に来られる方のニーズを知る。眼鏡の取り扱いを学ぶ。		
		円山動物園実習(2時間)	公共施設のユニバーサルデザインについて学び、興味・知識を深める。		
		北海道札幌視覚支援学校(2時間)	思いやりの心で幅広い患者層に対応できる社会性を身につける。 医療従事者としての自覚を高める。		
		富士メガネ見学(3時間)	種々の眼鏡の特徴を学び、眼鏡についての知識を深める。修理の見学、眼鏡店での一連の流れを学ぶ。		
		保育園検診実習(14時間)	小児に屈折検査、視力検査、両眼視検査、眼位・眼球運動検査を実施することで、小児に対する検査スキルを磨く。		
		眼科外来見学(4時間)	眼科施設を見学し、眼科外来の流れや視能訓練士の業務を眼で見て学ぶ。		

授業科目 (科目ID)	臨地実習Ⅱ 21n225	担当教員 (実務経験)	藤戸 章子 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
対象年次・学期	2年・通年	担当教員	高川 裕一
授業形態	実習	(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
		担当教員	川岸 寿幸
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
		担当教員	佐久間 愛
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
		担当教員	四宮 敦志
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
		担当教員	松田 理恵
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
		担当教員	山田 正幸
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>